

年度2009 学期 後期	曜日・校時	火・3	必修選択	必修	単位数	1	単位
授業科目 (英語名)	中国語Ⅳ (Chinese Ⅳ)						
対象年次	2	年次	講義形態	演習			
対象学生(クラス等)	2K25			科目分類	外国語科目(中国語)		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 連清吉 / lien@nagasaki-u.ac.jp / 095-819-2741 / 火曜日14:30-15:50							
担当教員(オムニバス科目等)							
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業ねらい</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 中国語の発音と基本文法を一通り終えたうえ、より実用的な会話を身につける授業を目指す。 2, 日常生活状況を中国語で表現できるようにする。 <p>授業方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 基本文型を取り上げて、そして会話の場面を設定し、そのまま会話で使える表現力を学習によって着実につけようとするのであります。 <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 改革開放後の中国における衣食住など人々の日常生活様子を会話の学習に通じて、中国の最新情報を理解する。 							
<p>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>日常生活の話題を中心とし、友達との日常会話に使える実用的表現ができるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1回目 興味 2回目 仮定の表現 3回目 テスト1 4回目 読書 5回目 復習3 6回目 テスト2 7回目 過年 8回目 「了」を用いる仮定条件文 9回目 テスト3 10回目 網上聊天 11回目 受け身の表現 12回目 テスト4 13回目 短期留学 14回目 復習4 15回目 まとめ 							
キーワード	日常会話						
教科書・教材・参考書	『実用中国語10課 2』(劉愛莉等、白帝社)						
成績評価の方法・基準等	1, 小テスト 60% 2, 定期試験 40%						
受講要件(履修条件)							
本科目の位置づけ/学習・教育目標	関係する専門科目、資格等: 中国語検定試験4級合格						
備考(準備学習等)	現在中国の社会状況						